

会報

無肥研だより

第23号

2024年10月1日 発行



今年の夏も記録的な猛暑の連続、線状降水帯、迷走台風等々ございましたが、皆様にはお変わりありませんでしょうか。無肥研におきましては8月31日～9月1日に計画していました九州地方への圃場見学会を台風のために残念ながら1年後に延期させていただきました。

さて、今回は無肥研専売店の巖田建商店が、京都市主催や全国規模の催し物への参加、さらに京都府宇治市支援学校での出前授業の実施など、無施肥無農薬栽培の普及活動に努めている様子をご紹介します。

京都市等の催事に参加して

1. アースデイ in 京都 2024



はじめ、地球環境の保全に関心を持たれている方など、様々なお客様が沢山来場されました。来場者には無施肥無農薬栽培の冷茶を試飲していただき、それを切っ掛けに無施肥無農薬栽培のことをお話させていただきました。慣行栽培のお茶は肥料を入れて旨味を出すと言われますが、無施肥のお茶は雑味がなく、甘

地球のことを考え、行動する日、地球の環境保護への支援を示す日、「Earth Day＝地球の日」が今年も、5月11日・12日の両日に平安神宮の傍の岡崎公園で開催され、昨年に続き無肥研専売店の巖田建商店が参加しました。当日は天候にも恵まれ、観光客や家族連れのお客様をは



くて美味しいことに驚かれる方が大半で、肥料を入れて旨味を出す必要が無いと感じていただくことが出来たと思います。また、2日間で約400人の方々に試飲していただき、殆どの方々から喉越しが良い、清涼感がすごい、甘くて美味しい等、大変ご好評を頂きました。

2. オーガニックライフスタイル EXPO in 京都



オーガニックライフスタイル EXPO in 京都が6月28日・29日の両日に岡崎公園の京都市勧業館「みやこめっせ」で開催されました。今回は西日本で初めての開催ということもあり、オーガニックを取り扱う企業、飲食店関係者、生産者等各専門の方々をはじめ、多くの来場者がありました。有機栽培により化学肥料・農薬の使用を抑え、食品はもとより化粧品、衣料品等にまで生かそうという催し

で多くの出店がありました。また、有機農業を通じて環境問題に取り組まれている方々も沢山出店されていました。その中で有機肥料さえも使用しない無施肥無農薬栽培に多くの方が、驚きと関心を示してくださり無肥研の活動を聞いてくださいました。

今回は市場調査も兼ねて無肥研専売店のベストフーズハセガワと巖田建商店の両店が合同で出店を致しま



した。当日は、冷茶やトマトジュースを試飲していただき、それらを通じて無施肥無農薬栽培のお話をさせていただき、米・酒・茶などを販売致しました。来場された方の中にお茶農家の方がおられ、他の作物と比べると肥料や農薬の使用が多いことで知られるお茶で、肥料や農薬を一切使用せずにお茶が出来るということが信じられない様子でした。しかし、実際に20年以上何も入れずにお茶が出来ていることや、無肥研の研究報告会で発表さ

れた茶園の調査で、農薬を撒かないのに病害虫が減っているという結果が出ていることをお話させていただくと再度試飲されて、「確かに美味しい」と驚いておられました。また、料理研究家の方やヴィーガン事業関係者、貿易会社などのバイヤーの方など、多種多様な業種の方々も来場されており、無施肥無農薬栽培のことをお話させていただく良い機会となりました。一般消費者の方は有機栽培と無施肥無農薬栽培の違いをすぐに理解される方は多くありません。しかし、各業種のプロの方々は、土に何も入れないことにより、土が持つ本来の力を活かすことが出来ることに感動され、有機栽培と比較すると、もう一段階上の理想的な農法

だと仰っておられる方が大変多くおられました。2日間を通して、一般的なオーガニック食品や自然食品よりも、新しいモノを求めておられる方が多く来場しておられました。プロアマを問わず沢山の方々とお一人お一人、それぞれのお立場や目線からのお話を伺うこともでき、無施肥無農薬栽培の魅力を共有させていただくことが出来た大変貴重な機会となりました。大規模なイベントに参加させていただき、無施肥無農薬栽培の普及活動を通して、無肥研専売店である私共も改めて無施肥無農薬栽培の素晴らしさを再認識いたしました。

イベント後も複数の企業様と交流を深めており、中には無肥研のキャベツを100玉以上お買い上げいただいた企業様もありました。イベント後20日間程の出来事であり、世の中に無施肥無農薬栽培を求めておられる消費者様が確実におられるということを実感いたしました。



(無施肥無農薬栽培巖田建商店 巖田建氏)

京都府立宇治支援学校における第2回無施肥栽培茶の授業 (2024年6月19日)



2019年に地域学習の一環として、巖田建商店の前身であります小米茶園が、同支援学校から要請を受けて、無施肥無農薬栽培のお茶を使った授業を、5年ぶりに再開しました。当初アレルギーのお子様に触れることができる農薬が入っていない安全安心なお茶を探されていたことが切っ掛けとなり、この度6月19日に二度目のご縁を頂くことになりました。

今回は小学部6年生のお子様13名を対象として、無施肥無農薬栽培の茶葉に手で触れてお茶を感じ、お茶を味わっていただきました。実際にティーバッグを使った水出し冷茶づくりを行い、煎茶を淹れて皆で試飲をさせていただきました。初めはいつもと違う雰囲気緊張をされていましたが、茶葉の種類を当てる簡単なクイズや、実際にお茶を淹れていく中で、緊張も少しずつ解け興味津々で積極的に授業に取り組んでおられました。先生方にも無施肥無農薬栽培のお茶を試飲いただき、美味しいと大変好評でした。



今回行かせていただいた宇治支援学校は宇治茶で有名な宇治市にありますが、慣行栽培茶が大半を占めています。海外と比較しても有機栽培ですら少ないのが現状です。ましてや無施肥無農薬栽培という言葉もご存じない方が殆どです。子供たちにも安全で美味しい無施肥無農薬栽培のお茶やお米、野菜を届けられるよう活動の場を拡大し普及しなければと痛感いたしました。



(無施肥無農薬栽培巖田建商店 巖田早映氏)

★ 今後の行事予定

今年度の行事として農産展の開催を計画しております。詳細が決まり次第、改めてお知らせいたしますので、皆様お誘いあわせの上、ご参加くださいますようお願いしております。

農産展・講演会・試食懇親会

開催日：2024年11月17日(日)

恒例の無施肥無農薬栽培農産物の展示会を開催します。北海道から沖縄まで全国で活動されている無肥研会員の皆様が丹精を込めて生産された農産物を一堂に集めて、会員や一般の皆様は無施肥無農薬栽培の生産物を知っていただく催しです。講演会や試食懇親会も計画しております。



会報についてのご意見を、郵便、FAX、E-mailでお寄せ下さい。皆様のお力で会報を充実させていきたいと存じますので、ご協力のほどお願い申し上げます。
(編集担当)

〒606-8311 京都市左京区吉田神楽岡町106-2

【認定NPO法人】特定非営利活動法人 無施肥無農薬栽培調査研究会

事務局 TEL：075-751-0347 FAX：075-334-8058

E-mail：bureau@muhiken.or.jp URL：<https://muhiken.or.jp>

Facebook：<https://www.facebook.com/muhiken>